

次世代の総合的な交通体系検討会

第1回検討会

資料－4 鉄道に関する市民アンケートの紹介

平成23年12月21日

「eアンケート」から

第6回ヨコハマeアンケート

将来の駅のあり方に関するアンケート

◆ヨコハマeアンケート

横浜市民を対象に毎年度メンバーを募集し、インターネットで市政に関するアンケートを実施

◆ 募集対象者：市内在住の15歳以上の方

◆ 集計結果の公表：横浜市ホームページで公表

◆ 集計結果の活用：施策や事業の企画、効果の測定、改善等に活用

「eアンケート」から

◆実施期間：平成23年10月21日～11月4日

◆回答率：50.4%（回答者数586人／登録者数1,162人）

○年代別・性別の登録者数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
男性	6 (0.5%)	33 (2.8%)	120 (10.3%)	188 (16.2%)	77 (6.6%)	115 (9.9%)	71 (6.1%)	610 (52.5%)
女性	1 (0.1%)	66 (5.7%)	192 (16.5%)	177 (15.2%)	65 (5.6%)	31 (2.7%)	14 (1.2%)	546 (47.0%)
不明		1 (0.1%)	5 (0.4%)					6 (0.5%)
計	7 (0.6%)	100 (8.6%)	317 (27.3%)	365 (31.4%)	142 (12.2%)	146 (12.6%)	85 (7.3%)	1,162 (100.0%)

○年代別・性別の回答者数／構成比

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	計
男性	3 (50.0%)	18 (54.5%)	46 (38.3%)	116 (61.7%)	53 (68.8%)	77 (67.0%)	40 (56.3%)	353 (57.9%)
女性	1 (100.0%)	14 (21.2%)	78 (40.6%)	83 (46.9%)	28 (43.1%)	19 (61.3%)	7 (50.0%)	230 (42.1%)
不明		0 (0.00%)	3 (60.00%)					3 (50.0%)
計	4 (57.1%)	32 (32.0%)	127 (40.1%)	199 (54.5%)	81 (57.0%)	96 (65.8%)	47 (55.3%)	586 (50.4%)

「eアンケート」から

第6回ヨコハマeアンケート質問項目（抜粋）

Q1 横浜市内の鉄道に関して、改善してほしいと思う項目はありますか。

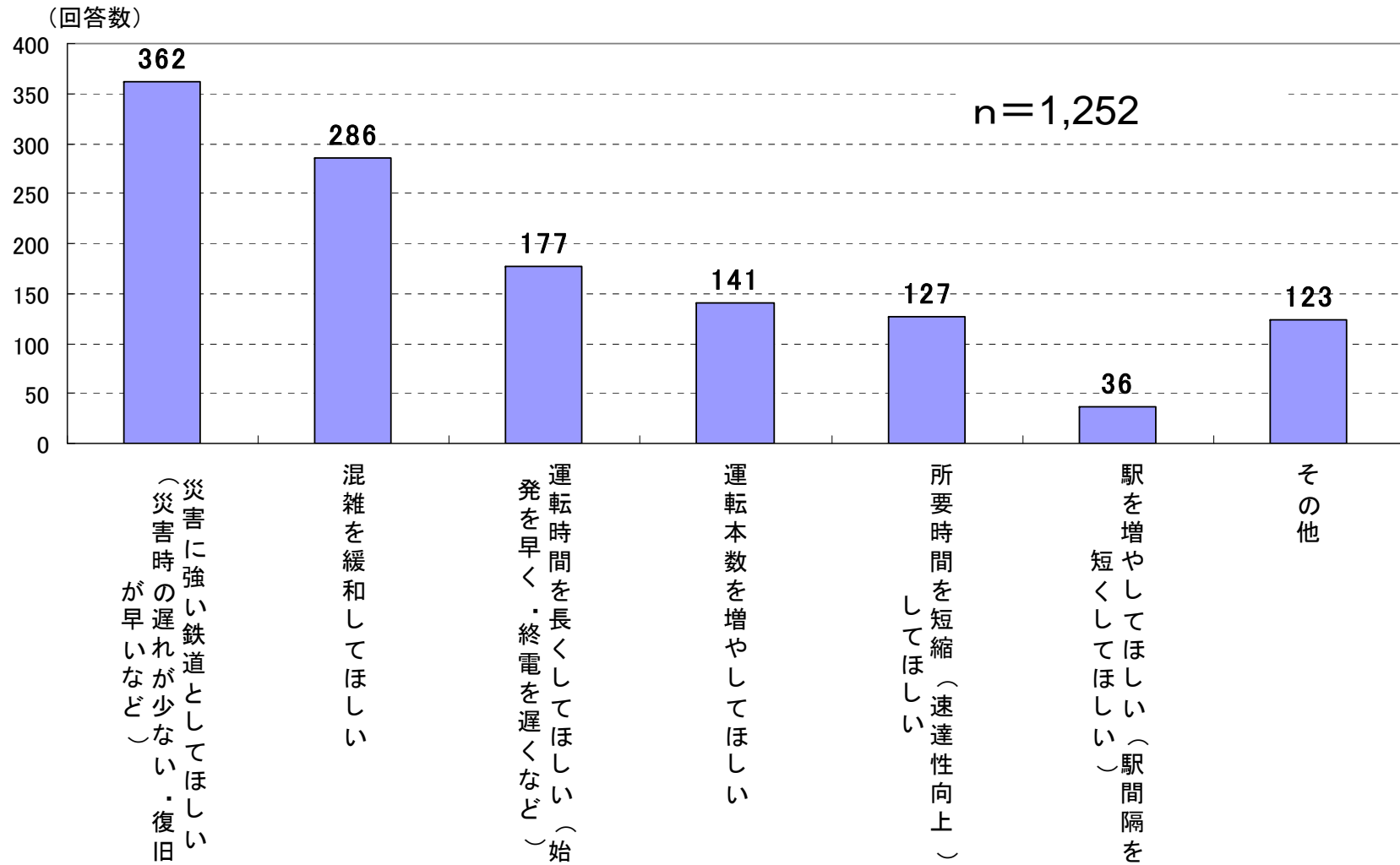
Q2 横浜市内で、平成10年度以降に開業した鉄道（ブルーライン「戸塚～湘南台」、みなとみらい線「元町・中華街～横浜」、グリーンライン「中山～日吉」）についてお伺いします。

Q3 現在、検討中の鉄道路線（ブルーライン「あざみ野～新百合ヶ丘」）延伸についてお伺いします。

Q4 現在、検討中の鉄道路線（横浜環状鉄道「鶴見～日吉、中山～二俣川～東戸塚～上大岡～根岸～元町」）についてお伺いします。

「eアンケート」から

Q1 横浜市内の鉄道に関して、改善してほしいと思う項目はありますか。
(3つまで回答可)



「eアンケート」から

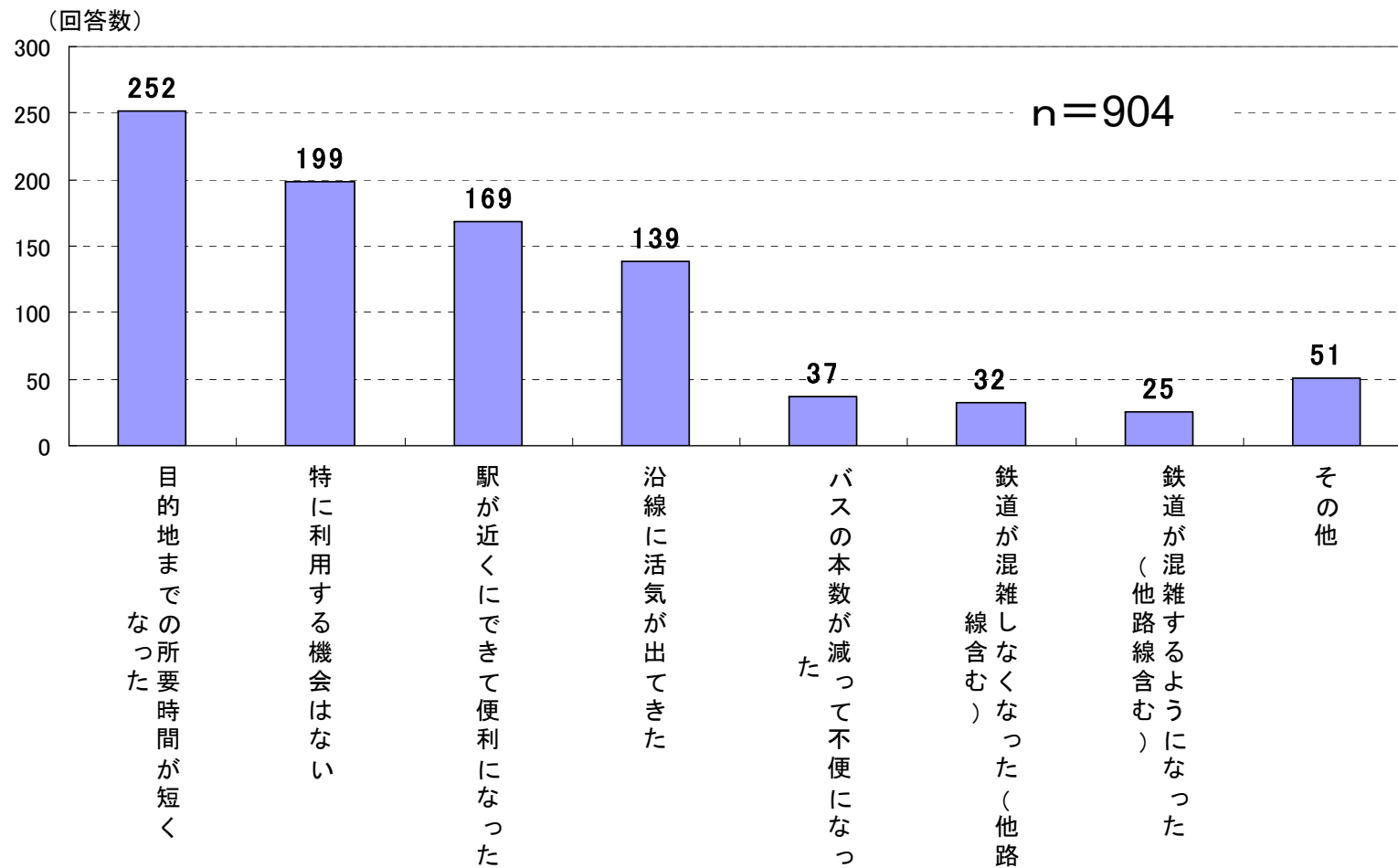
Q1 横浜市内の鉄道に関して、改善してほしいと思う項目はありますか。
(3つまで回答可)

居住区別回答数

	居住区																	回答数 (構成比)	
	鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区		瀬谷区
1 混雑を緩和してほしい	18	22	12	19	14	19	14	30	15	17	24	11	15	6	19	7	13	11	286 (22.8)
2 所要時間を短縮(速達性向上)してほしい	7	4	5	7	7	13	7	14	7	9	11	5	8	4	3	4	7	5	127 (10.1)
3 運転本数を増やしてほしい	7	8	8	14	8	13	8	12	7	6	11	11	5	7	9	1	4	2	141 (11.3)
4 運転時間を長くしてほしい(始発を早く・終電を遅くなど)	8	11	9	14	13	16	7	19	6	8	13	9	8	6	8	5	8	9	177 (14.1)
5 駅を増やしてほしい(駅間隔を短くしてほしい)	4	2	0	5	1	3	4	1	2	1	5	0	2	1	1	2	1	1	36 (2.9)
6 災害に強い鉄道としてほしい(災害時の遅れが少ない・復旧が早いなど)	26	31	13	31	25	27	15	22	19	20	29	15	19	12	23	12	12	11	362 (29.0)
7 その他	3	12	5	14	5	10	7	5	6	10	13	6	4	8	11	1	2	1	123 (9.8)
	各区ごとに、回答数の多い順に1位を■、2位を■で表示。 なお、同数の場合は、同位として表示。																	計	1252 (100.0)

「eアンケート」から

Q2横浜市内で、平成10年度以降に開業した鉄道(ブルーライン「戸塚～湘南台」、みなとみらい線「元町・中華街～横浜」、グリーンライン「中山～日吉」)についてお伺いします。
(3つまで回答可)



「eアンケート」から

Q2横浜市内で、平成10年度以降に開業した鉄道(ブルーライン「戸塚～湘南台」、みなとみらい線「元町・中華街～横浜」、グリーンライン「中山～日吉」)についてお伺いします。
(3つまで回答可)

居住区別回答数

		居住区																	回答数 (構成比)	
		鶴見区	神奈川区	(M)西区	(M)中区	南区	港南区	保土ヶ谷	旭区	磯子区	金沢区	(G)港北区	(G)緑区	青葉区	(G)都筑区	(B)戸塚区	栄区	(B)泉区		瀬谷区
回答	1 駅が近くにできて便利になった	7	8	6	22	4	12	4	10	11	6	17	11	6	11	12	4	14	4	169 (18.7)
	2 鉄道が混雑しなくなった(他路線含む)	2	2	0	2	0	2	1	2	2	1	1	5	3	2	5	1	0	1	32 (3.5)
	3 鉄道が混雑するようになった(他路線含む)	0	1	2	0	1	4	1	1	0	0	7	3	1	1	2	0	1	0	25 (2.8)
	4 目的地までの所要時間が短くなった	13	17	11	17	11	24	6	19	14	14	27	15	13	10	16	3	10	12	252 (27.9)
	5 沿線に活気が出てきた	1	11	8	17	10	7	3	10	7	9	14	6	5	4	11	3	9	4	139 (15.4)
	6 バスの本数が減って不便になった	0	1	2	3	1	5	2	3	1	0	4	1	3	4	2	1	3	1	37 (4.1)
	7 特に利用する機会はない	18	19	8	12	11	18	14	13	14	17	9	4	5	5	12	12	2	6	199 (22.0)
	8 その他	3	3	1	8	0	4	1	5	1	2	7	4	2	2	5	0	2	1	51 (5.64)
																			計	904 (100.0)

各区ごとに、回答数の多い順に1位を■、2位を■で表示。

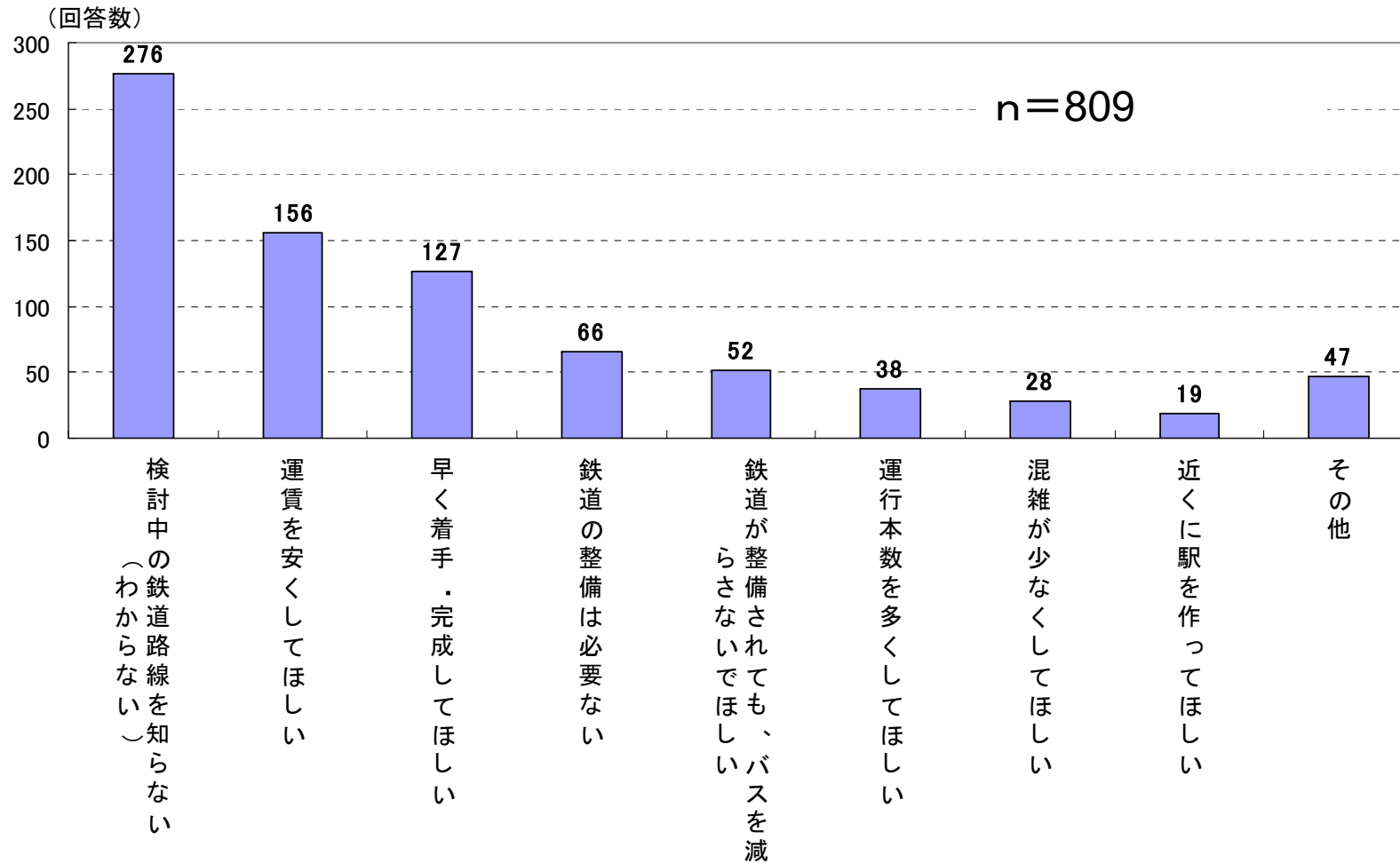
なお、同数の場合は、同位として表示。

(B):ブルーライン「戸塚～湘南台」該当区、(G):グリーンライン「中山～日吉」該当区、

(M):みなとみらい線該当区を示す。

「eアンケート」から

Q3現在、検討中の鉄道路線(ブルーライン「あざみ野〜新百合ヶ丘」)延伸についてお伺いします。
(3つまで回答可)



「eアンケート」から

Q3現在、検討中の鉄道路線(ブルーライン「あざみ野～新百合ヶ丘」)延伸についてお伺いします。
(3つまで回答可)

居住区別回答数

		居住区																	回答数 (構成比)	
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区		瀬谷区
回答	1 早く着手・完成してほしい	4	9	4	7	5	10	4	9	6	2	13	11	11	10	9	2	7	4	127 (15.7)
	2 近くに駅を作ってほしい	1	0	0	1	1	1	2	0	1	0	2	1	5	0	3	1	0	0	19 (2.4)
	3 運行本数を多くしてほしい	1	2	1	3	1	4	2	1	3	0	5	4	3	3	1	0	3	1	38 (4.7)
	4 混雑が少なくしてほしい	0	1	1	1	1	0	1	2	3	2	7	2	3	2	1	0	0	1	28 (3.5)
	5 運賃を安くしてほしい	7	5	7	6	8	16	6	12	5	5	15	16	10	14	8	3	7	6	156 (19.3)
	6 鉄道が整備されても、バスを減らさないでほしい	1	1	4	2	3	7	3	4	2	1	6	3	5	2	4	2	2	0	52 (6.4)
	7 鉄道の整備は必要ない	3	8	1	7	6	6	2	3	6	3	6	1	4	1	2	3	2	2	66 (8.2)
	8 検討中の鉄道路線を知らない(わからない)	23	19	12	30	17	18	14	25	19	21	20	6	6	4	17	9	8	8	276 (34.1)
	9 その他	1	4	4	5	0	8	0	3	2	3	4	3	4	1	4	1	0	0	47 (5.8)
																			計	809 (100.0)

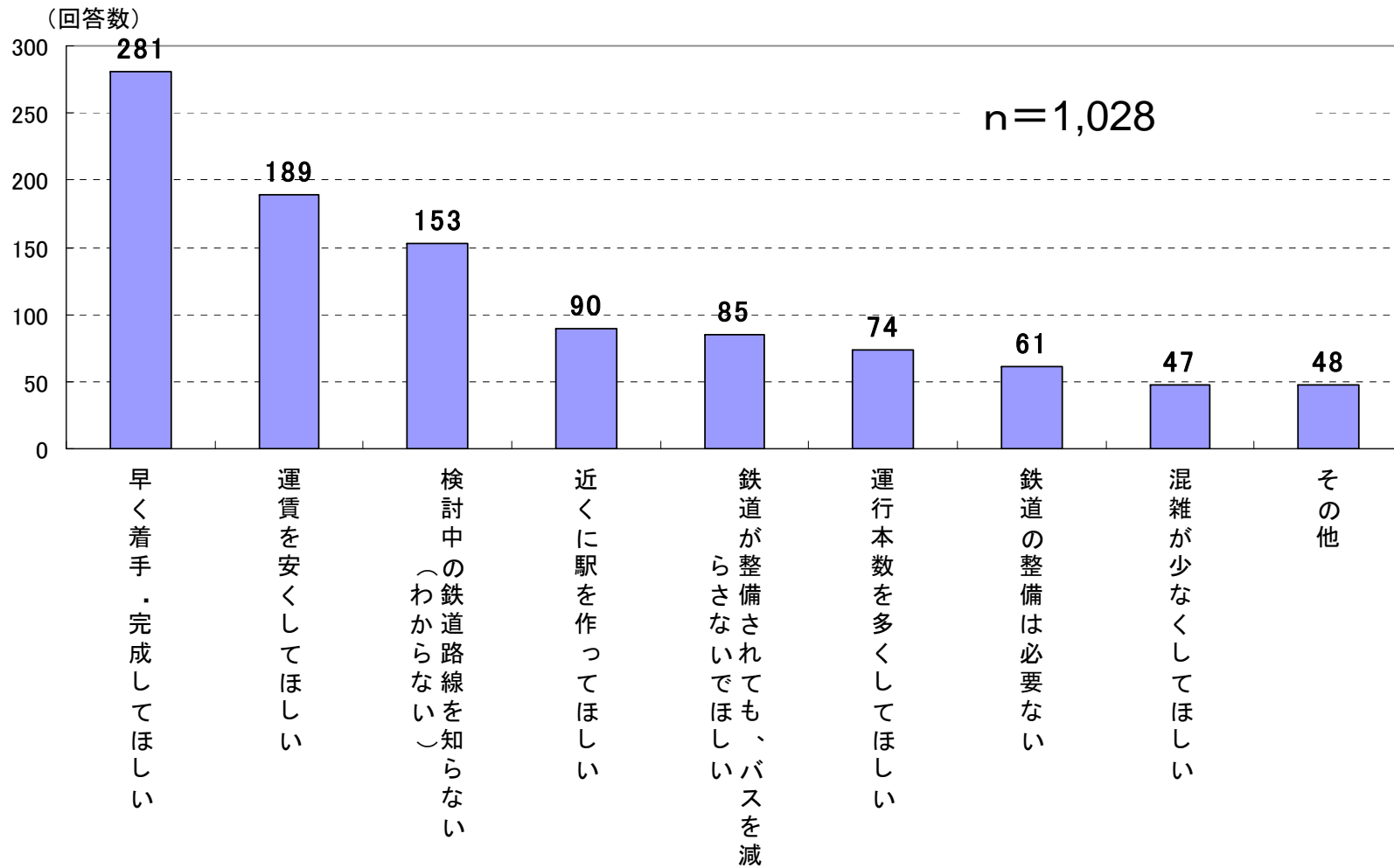
各区ごとに、回答数の多い順に1位を■、2位を■で表示。

なお、同数の場合は、同位として表示。

■は、ブルーライン「あざみ野～新百合ヶ丘」延伸の該当区を示す。

「eアンケート」から

Q4現在、検討中の鉄道路線(横浜環状鉄道「鶴見～日吉、中山～二俣川～東戸塚～上大岡～根岸～元町」)についてお伺いします。
(3つまで回答可)



「eアンケート」から

Q4現在、検討中の鉄道路線(横浜環状鉄道「鶴見～日吉、中山～二俣川～東戸塚～上大岡～根岸～元町」)についてお伺いします。
(3つまで回答可)

居住区別回答数

		居住区																	回答数 (構成比)	
		鶴見区	神奈川区	西区	中区	南区	港南区	保土ヶ谷	旭区	磯子区	金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区		瀬谷区
回答	1 早く着手・完成してほしい	17	20	11	22	21	21	12	25	19	15	15	11	12	8	19	11	11	11	281 (27.3)
	2 近くに駅を作ってほしい	5	4	3	11	3	5	3	9	4	6	6	5	3	6	6	4	5	2	90 (8.8)
	3 運行本数を多くしてほしい	4	8	2	5	2	6	2	7	4	5	5	2	4	2	5	5	3	3	74 (7.2)
	4 混雑が少なくしてほしい	2	2	3	7	2	4	0	3	2	4	6	2	1	2	1	4	2	0	47 (4.6)
	5 運賃を安くしてほしい	11	14	10	13	12	17	7	14	12	11	13	6	9	6	14	6	7	7	189 (18.4)
	6 鉄道が整備されても、バスを減らさないでほしい	3	4	1	8	5	9	1	9	4	6	2	5	8	5	7	1	6	1	85 (8.3)
	7 鉄道の整備は必要ない	3	2	3	4	3	5	4	6	3	2	7	0	2	0	7	3	4	3	61 (6.0)
	8 検討中の鉄道路線を知らない(わからない)	11	10	9	11	4	11	10	7	7	9	18	11	8	8	8	2	6	3	153 (14.9)
	9 その他	1	3	2	8	3	4	0	1	1	3	5	3	2	3	3	1	3	2	48 (4.7)
																			計	1028 (100.0)

各区ごとに、回答数の多い順に1位を■、2位を■で表示。

なお、同数の場合は、同位として表示。

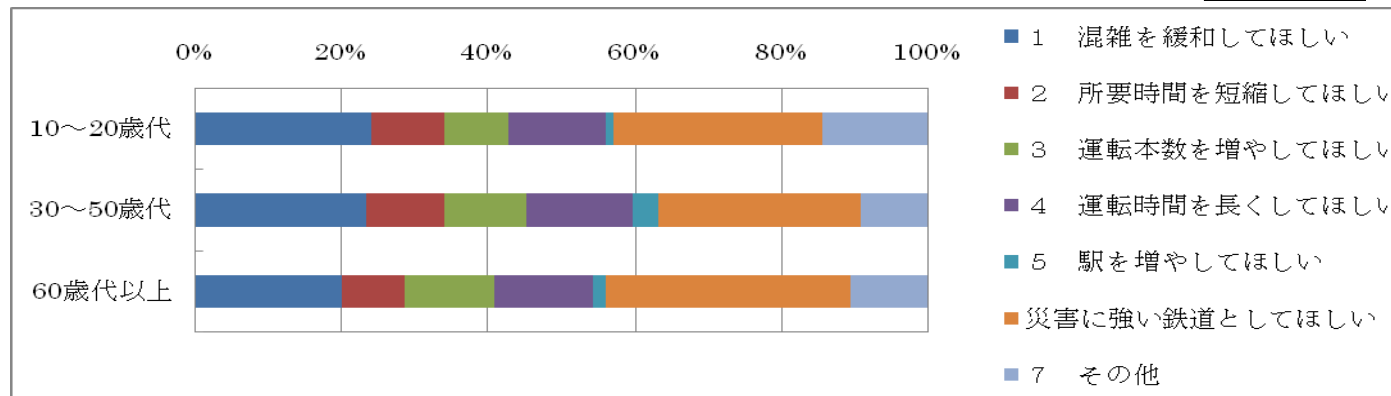
■は、横浜環状鉄道「鶴見～日吉、中山～二俣川～東戸塚～上大岡～根岸～元町」の該当区を示す。

(参考)ヨコハマeアンケート年齢別の回答数

「eアンケート」から

Q1 横浜市内の鉄道に関して、改善してほしいと思う項目はありますか。
(3つまで回答可)

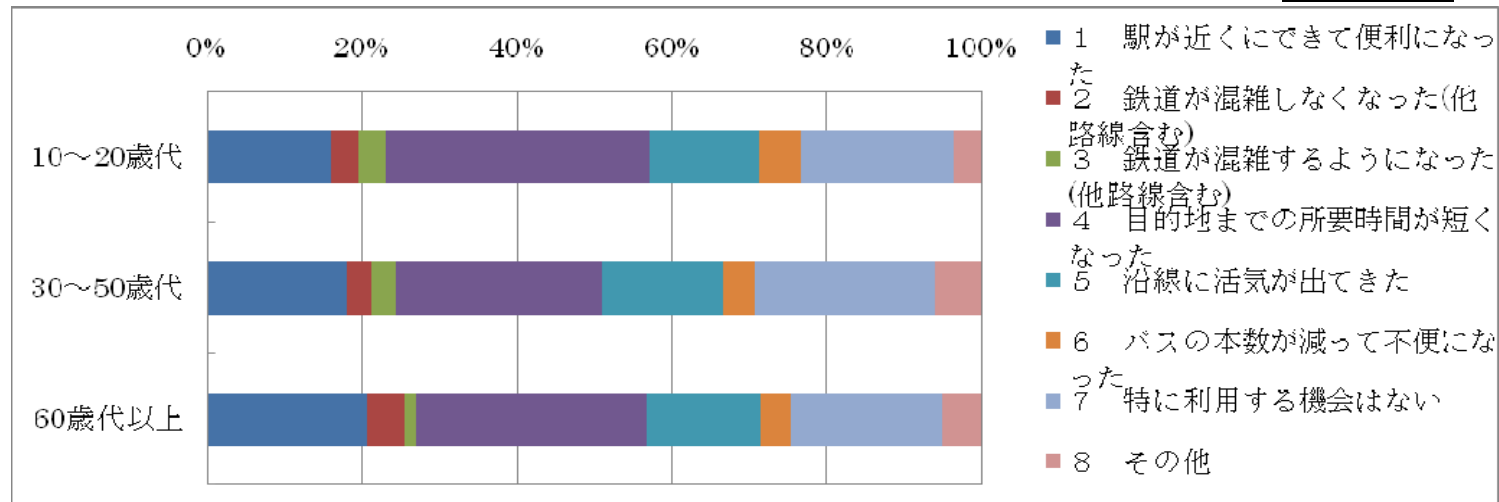
		10~20歳代	30~50歳代	60歳代以上	計
回答	1 混雑を緩和してほしい	22	210	54	286
	2 所要時間を短縮（速達性向上）してほしい	9	95	23	127
	3 運転本数を増やしてほしい	8	100	33	141
	4 運転時間を長くしてほしい（始発を早く・終電を遅くなど）	12	129	36	177
	5 駅を増やしてほしい（駅間隔を短くしてほしい）	1	31	4	36
	6 災害に強い鉄道としてほしい（災害時の遅れが少ない・復旧が早いなど）	26	246	90	362
	7 その他	13	82	28	123
					1252



「eアンケート」から

Q2横浜市内で、平成10年度以降に開業した鉄道(ブルーライン「戸塚～湘南台」、みなとみらい線「元町・中華街～横浜」、グリーンライン「中山～日吉」)についてお伺いします。
(3つまで回答可)

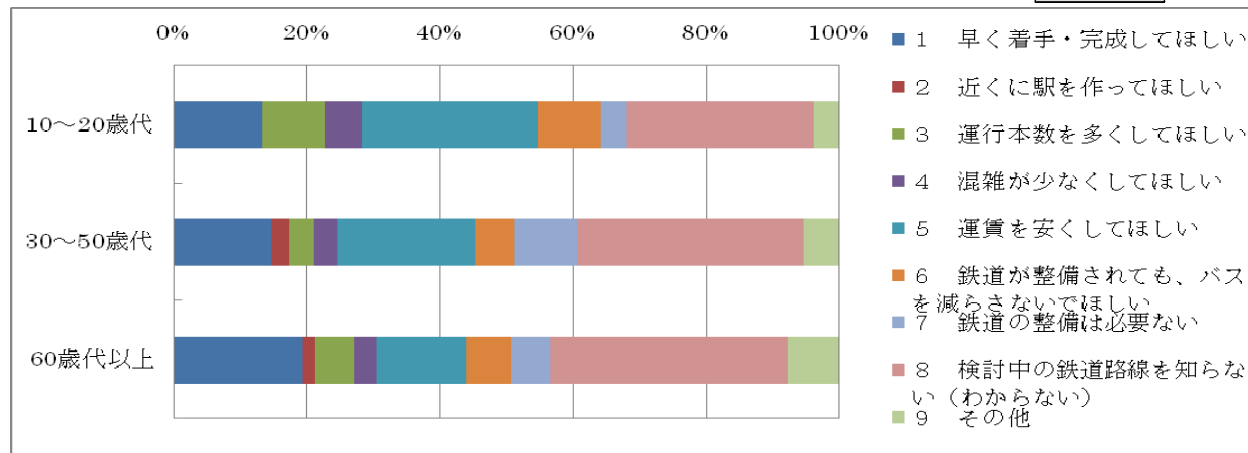
		10～20歳代	30～50歳代	60歳代以上	計
回答	1 駅が近くにできて便利になった	9	111	49	169
	2 鉄道が混雑しなくなった(他路線含む)	2	19	11	32
	3 鉄道が混雑するようになった(他路線含む)	2	19	4	25
	4 目的地までの所要時間が短くなった	19	163	70	252
	5 沿線に活気が出てきた	8	96	35	139
	6 バスの本数が減って不便になった	3	25	9	37
	7 特に利用する機会はない	11	142	46	199
	8 その他	2	37	12	51
					904



「eアンケート」から

Q3現在、検討中の鉄道路線(ブルーライン「あざみ野〜新百合ヶ丘」)延伸についてお伺いします。
(3つまで回答可)

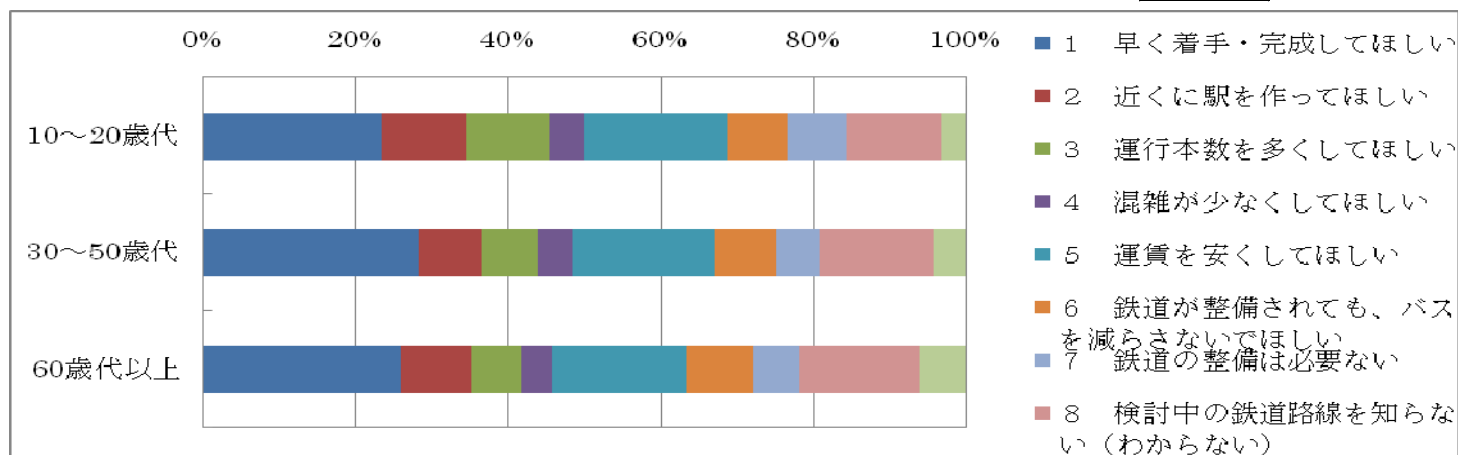
		10~20歳代	30~50歳代	60歳代以上	計
回答	1 早く着手・完成してほしい	7	80	40	127
	2 近くに駅を作ってほしい	0	15	4	19
	3 運行本数を多くしてほしい	5	21	12	38
	4 混雑が少なくしてほしい	3	18	7	28
	5 運賃を安くしてほしい	14	114	28	156
	6 鉄道が整備されても、バスを減らさないでほしい	5	33	14	52
	7 鉄道の整備は必要ない	2	52	12	66
	8 検討中の鉄道路線を知らない(わからない)	15	187	74	276
	9 その他	2	29	16	47
					809



「eアンケート」から

Q4現在、検討中の鉄道路線(横浜環状鉄道「鶴見～日吉、中山～二俣川～東戸塚～上大岡～根岸～元町」)についてお伺いします。(3つまで回答可)

		10～20歳代	30～50歳代	60歳代以上	計
回答	1 早く着手・完成してほしい	15	198	68	281
	2 近くに駅を作ってほしい	7	59	24	90
	3 運行本数を多くしてほしい	7	50	17	74
	4 混雑が少なくしてほしい	3	33	11	47
	5 運賃を安くしてほしい	12	131	46	189
	6 鉄道が整備されても、バスを減らさないでほしい	5	57	23	85
	7 鉄道の整備は必要ない	5	40	16	61
	8 検討中の鉄道路線を知らない(わからない)	8	104	41	153
	9 その他	2	30	16	48
					1028



(参考) 広聴情報データ

「広聴情報データ」から

横浜市の広聴情報データ
「市民からの提案」など、市民のご意見・ご提案
をまとめ、市の事業や施策検討に活かす

○広聴事業別受付通数(H22年度)

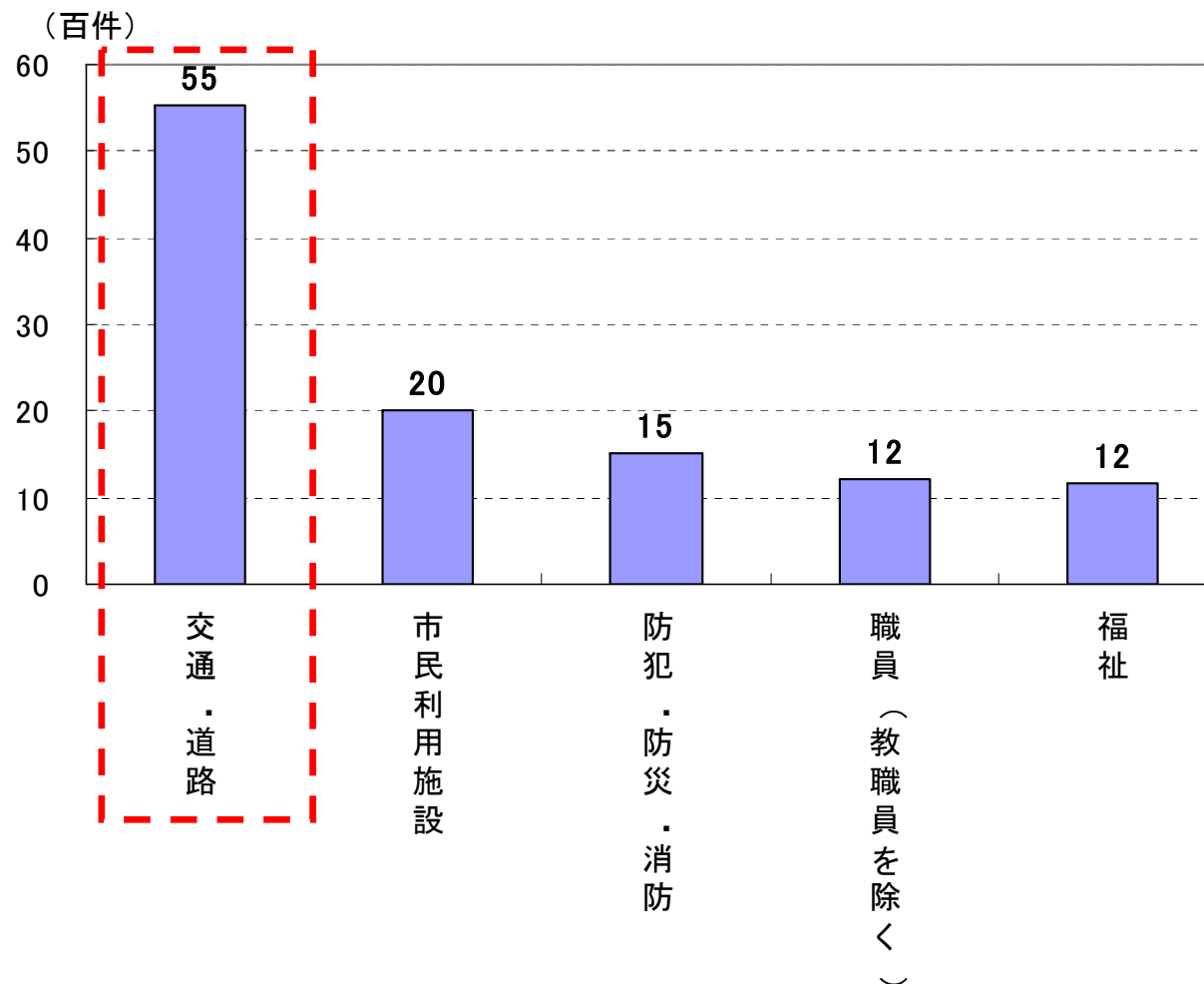
上段：通数、下段：()内は構成比(%)

	市民からの提案	市長陳情	市政ダイレ クト広聴	その他の広聴	総 計
22年度	6,749 (58.1)	140 (1.2)	2,334 (20.1)	2,401 (20.7)	11,624 (100.0)
	(インターネット受付分) 内数(5,221) (44.9%)				
21年度	7,170 (60.7)	180 (1.5)	2,265 (19.2)	2,194 (18.6)	11,809 (100.0)
	(インターネット受付分) 内数(5,258) (44.5%)				
対前年度増減数	△421	△40	69	207	△185
対前年度比(%)	(△5.9)	(△22.2)	(3.0)	(9.4)	(△1.6)

「広聴情報データ」から

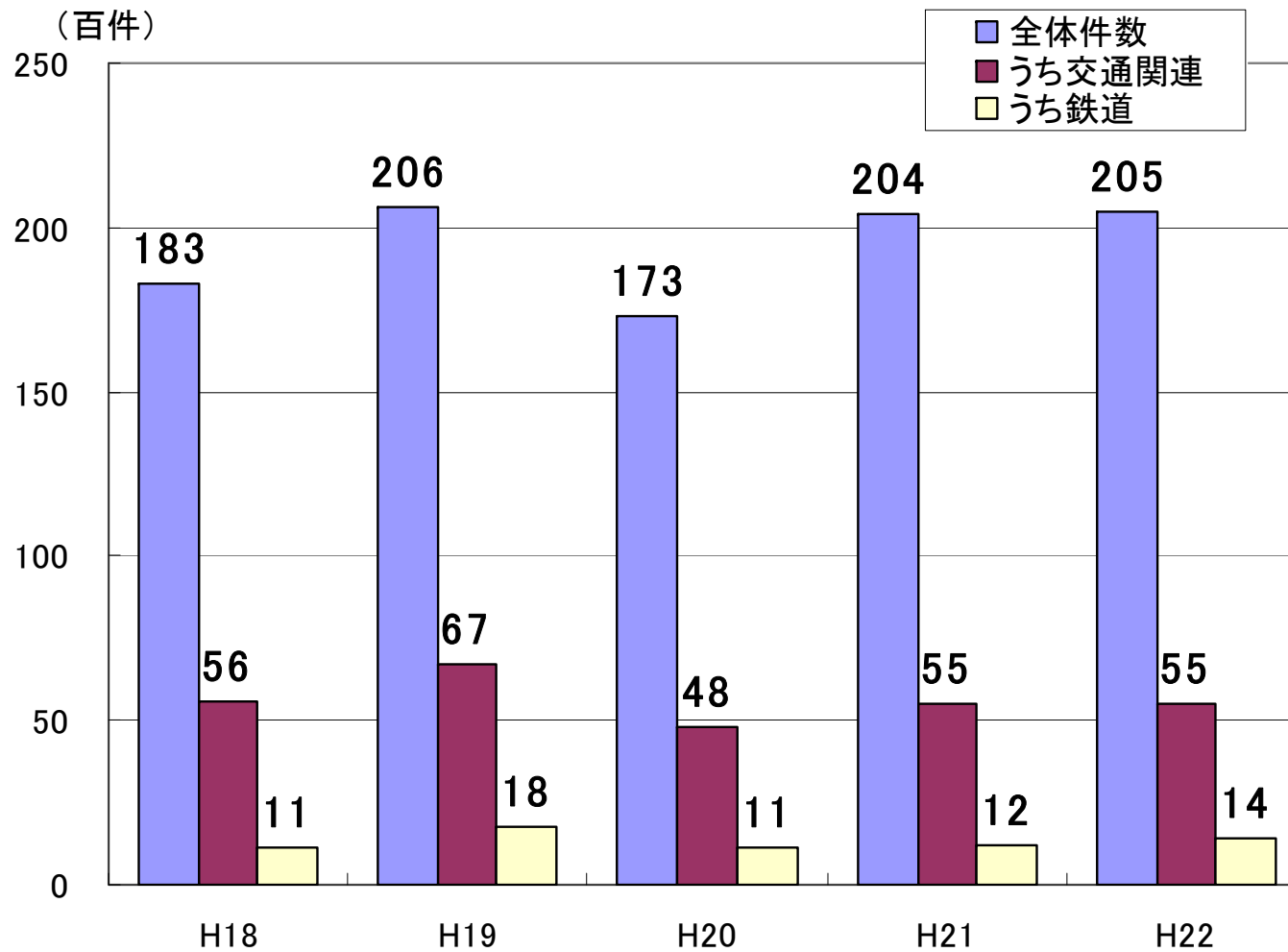
平成22年広聴情報の内容大分類件数の上位5項目

→ 交通・道路に関する意見・提案が多い



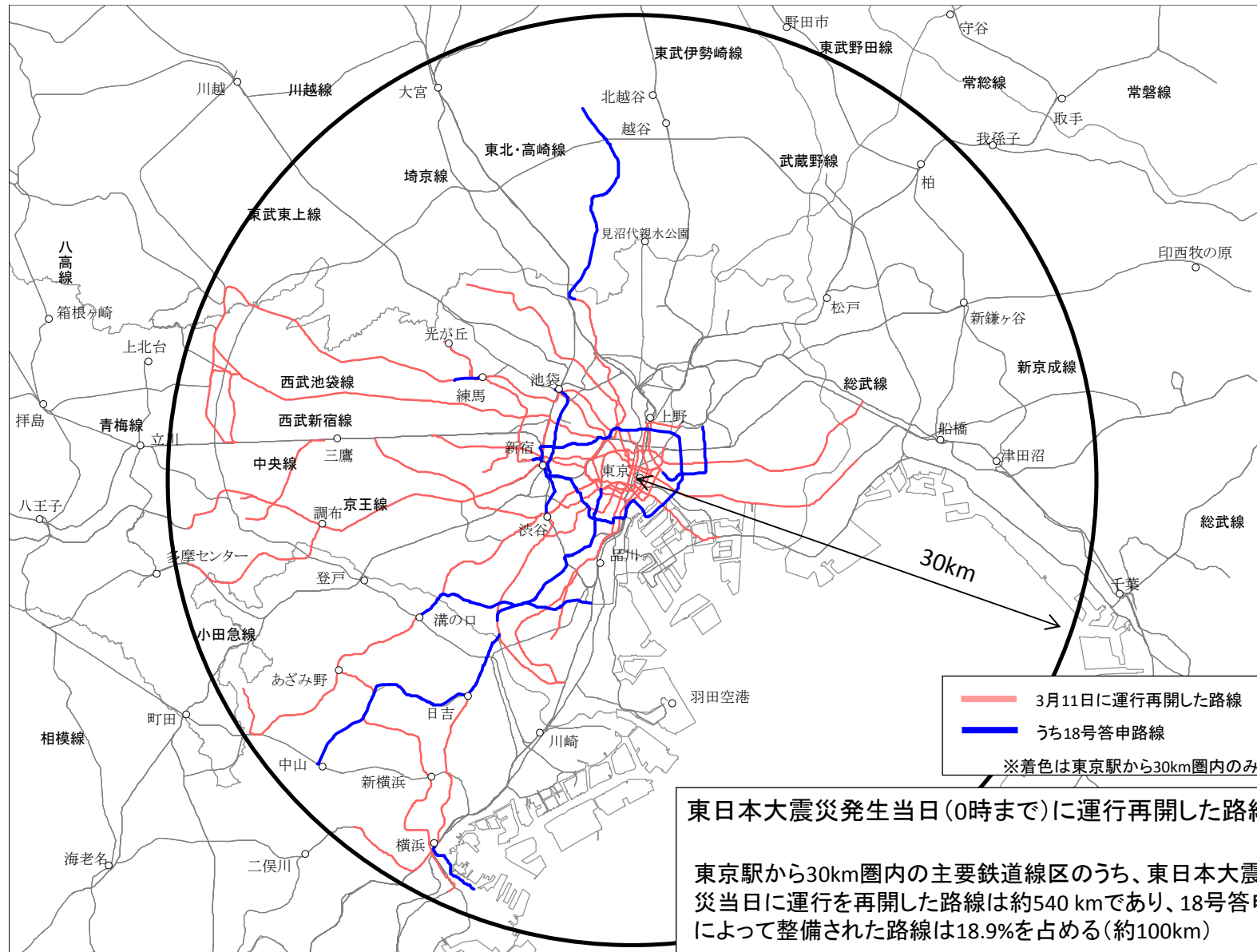
「広聴情報データ」から

全体件数における「交通関連・鉄道」の件数の推移



(参考)震災当日の運行再開路線

震災当日に運行を再開した路線のうち18号答申関連路線



東日本大震災発生当日(0時まで)に運行再開した路線

東京駅から30km圏内の主要鉄道線区のうち、東日本大震災当日に運行を再開した路線は約540 kmであり、18号答申によって整備された路線は18.9%を占める(約100km)

出典)国土交通省資料

震災当日の横浜市の帰宅困難者の対応

横浜市政策局政策課 「横浜の政策力・調査季報169号 東日本大震災と横浜」より

○震災当日の横浜市の帰宅困難者の受け入れ人数

- ・パシフィコ横浜展示ホール: 約8,000人
- ・横浜アリーナ: 約2,300人
- ・その他、56公共施設で計: 約18,000人

特集

横浜 東日本大震災と

横浜市政策局政策課

vol.169

調査季報

平成23年3月11日金曜日午後14時、三陸沖を震源とするマグニチュード9.0の大規模な地震が発生し、巨大な揺れとそれによる津波により多大な被害が生じた。さらに、福島第一原子力発電所から放射性物質が流出し、被災地は現在も放射能汚染が深刻化している。被災地は現在も復興に向けて、即断即決、即実行の姿勢で取り組んでいる。被災地は、震災当日の帰宅困難者の対応や、被災者の生活や生活の再建に大きな影響を及ぼした。今後の対応は、いづかの分野において、現時点で明らかにならないうちに、今後の対応をとり進める。

また、本日は、被災地に対して物資を運送して支援を行い、被災者を支援し、被災地を元気づけることを狙い、「被災支援」的な立場にいた職員から被災地支援を訴えている。

さらに、行政の側だけでなく、市民の視点から見た被災地について、地震で被災地は揺れる市民と市民を支援する市民の視点から二面から論じている。特に、市民の「支援」に関しては、今回のような規模かつ広範囲な災害による「目に見えない」影響について、調査結果のデータを用いて、できるだけ客観的に明らかにすることを試みる。

非常に大きなテーマであり、今後の対応だけで全てを語りつくすことはできないが、今回の特集が、これからの災害対策を考える上での一助となることを願う。

●横浜市

横浜市は、防災計画のなかで、パシフィコ横浜国立大ホール及び横浜アリーナを帰宅困難者のための一時宿泊場所として指定している。また、区本部長は主要駅等に主要駅等対応班を派遣し、必要に応じて、公共施設等に帰宅困難者のための一時宿泊場所を開設するとしている。

3月11日には、実際に職員を主要駅やパシフィコ横浜などの一時宿泊施設に派遣し、帰宅困難者の誘導や対応を行い、パシフィコ横浜展示ホールで約8,000人、横浜アリーナで約2,300人など、56の公共施設で約18,000人を受け入れた。また、把握しているだけでも、ホテルやデパート等の商業施設等で自主的に約8,000人を受け入れて頂いた。(写真1)

毛布や水などの備蓄物資を、金沢区の備蓄倉庫から運んだが、交通渋滞や停電によるエレベーターの停止等により、配布は深夜にまで及んだ。